

発行所 環境農業新聞社
編集発行人 成瀬一夫
東京都葛飾区東金町1-41-9
〒125-0041 フランス堂ビル3階
電話 03-3826-5212
FAX 03-3826-5217
年間購読料 3,000円(税・送料込)
郵便振替口座 00150-2-290578

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

- …秋田で機械化ショー……(1面)
- …あきたこまちR問題……(3,4面)
- …由井名誉会長の基調講演……(5面)
- …JPHMAコンGRES……(8面)

日本最大級の祭典 秋田県種苗交換会

80万人の人出で賑わう 機械化ショー

聖農石川理紀之助翁の出身地である潟上市 17年ぶりの開催に

秋田県農業機械化協会白石光弘会長あいさつ

日本最大級の農業の祭典「第146回秋田県種苗交換会」協賛の第75回農業機械化ショー(主催秋田県農業機械化協会)が11月2日から6日までの5日間、秋田県潟上市昭和工業団地において秋田クボタをはじめJAA全農あきたなどが最新の農業機械が展示される。毎年、会期中80万人の人出で賑わうことも有名だ。主催者は秋田県機械化協会。そこで白石光弘秋田県機械化協会会長のあいさつとこれまで秋田県の機械化を進めてきた秋田県農業機械化協会同組合の白石理事長のあいさつを紹介する。



白石光弘会長

秋田県農業機械化協会
白石光弘会長のあいさつ

主催の秋田県農業機械化ショーが、ここ潟上市で開催されるに当たり、一言あいさつ申し上げます。はじめに当県では昨年に続きこの夏も豪雨災害が発生してしまいました。被害に見舞われた皆様、一日も早く普段の生活に戻れますことを心よりお祈り申し上げます。機械化協会として、できる限りのお手伝いをさせて頂く所存でございます。秋田県種苗交換会も、今年で第146回を数えるに至りました。聖農石川理紀之助翁の出身地でもあります潟上市で種苗交換会が開催

されるのは、2006年以来17年振りとなります。種苗交換会の協賛行事として発展してまいりました農業機械化ショーは、全国の農業関連メーカーが集結する一大イベントとなっております。安全・盛況のうちに終わることを願っております。さて、当県では2010年から「米依存からの脱却」と「農業産出額の増大」を目標に掲げ、「複合生産構造への転換」を推進しています。園芸×力団地や大規模畜産団地の整備などの生産



気合いが入る白石会長(中央)



会期中の安全祈願を祈る



毎回、主催者が集まり開会式を行う

「第75回秋田県農業機械化ショー」が17年ぶりに開催されるに当たり、県内の農業機械販売整備事業関係者を代表して一言ご挨拶を申し上げます。石川翁は、秋田の二宮尊徳と称され、その生涯を農村の更生、農家の救済、農業の振興に捧げつ

くした聖農として全国に名を知らしめており、明治11年に秋田県種苗交換会を創設し現在の礎を築

を数え、10年連続で200人を超えることができています。このような県内農業の基盤整備進行に伴い、経営規模拡大を目指す設立が増えている農業法人や効率化を追求するスマート農業への対応、農作業事故防止対策の充実など、我々協会の会員が果たすべき課題は少なくありません。安

心して使える安全な機械、営業規模に合った機械の安価な、かつ安定した供給と、故障時のメン

は、不断なく一致協力してまいります。必ずこの会場に多くの来場者があると思われま。会員の皆様はもちろんのこと、ご来場者への安全に配慮していただきながら、最新鋭の農機やアイデア農業商品の展示・紹介を通して我々の取り組み姿勢を見ていただき、満足して帰っていただき、対応をお願いします。また、会場設置にご尽力いただいた潟上市協賛会と工事関係者の皆さんにこの場をお借りして謝意を表しご挨拶いたします。

経営規模に合った機械の提供

秋田県農業機械 商業協同組合 白石光弘理事長

秋田県農業機械商業協同組合 白石光弘理事長のあいさつ

秋田県農業機械商業協同組合 白石光弘理事長のあいさつ

品原材料や生産資材価格が高騰し、海外からのエネルギーや食糧調達に困難に陥っています。こうした中、秋田県では全国の食料供給基地としての役割を果たすべく、担い手の就業条件の整備と生産性向上に向けた取り組みを支援し、経営力の高い担い手と新規就農者の確保育成を目指してまいります。その成果もあって、県内の農業は生産規模の拡大や複合生産構造への転換を目指す農業法人の設立など経営規模の拡大が目立つとともに、新規就農者が10年連続200人を超え、令和4年度には271人

と、平成以降最高値を記録するなどの実績を上げております。私達農業機械業界としては、こうした農業環境の変化を踏まえ水稲用の高性能機械に加え、園芸×力団地等への対応、更にICT・AI等の先端技術を駆使したスマート農業への取り組みが求められております。一方で、県内の大半を占める中小規模生産者層に向けた、安価で使いやすく、高効率で安全性を十分に考慮した機械の提供が必須となります。また、こうした生産者が、将来にわたって持続的に発展して行くためには、競争力の高い経営体形の育成と高齢就農者の農作業事故防止対策の充実が必要となります。当組合では、最新鋭機の推進はもちろん、県認定整備施設、農機整備技能士、中

古農業機械査定士等の公的制度的活用の下、生産者が安心して使ってもらえる適正な農機の流通推進とコスト削減、生産者の経営規模に合った機械の提供を目指しております。「大地を育む夢を育てる」という組合の理念に則り、秋田県農業とこれまで秋田の農業を支えてきた農業生産者の「安心・安全、新規就農者の「未来を拓く大きな夢」に向かって、私たち秋田県農業機械商業協同組合の組合員企業は、自らの業務への精励を通じて精一杯のお手伝いをして行きたいと思っております。結び、記念すべき今年の第75回農業機械化ショーのご盛況と、秋田県農業機械化協会並びに関係各位のますますのご発展を祈念して挨拶いたします。

基盤強化に加え、えだまめ・ネギ・しいたげなど日本一を目指した産地づくりを進めています。また、こうした産地づくりを支える担い手農家の皆様の就業条件の整備や生産性向上への取り組みを支援し、新たな就農者の確保育成にも力をいれています。昨年令和4年度の新規就農者は271人

を数え、10年連続で200人を超えることができています。このような県内農業の基盤整備進行に伴い、経営規模拡大を目指す設立が増えている農業法人や効率化を追求するスマート農業への対応、農作業事故防止対策の充実など、我々協会の会員が果たすべき課題は少なくありません。安

心して使える安全な機械、営業規模に合った機械の安価な、かつ安定した供給と、故障時のメン

は、不断なく一致協力してまいります。必ずこの会場に多くの来場者があると思われま。会員の皆様はもちろんのこと、ご来場者への安全に配慮していただきながら、最新鋭の農機やアイデア農業商品の展示・紹介を通して我々の取り組み姿勢を見ていただき、満足して帰っていただき、対応をお願いします。また、会場設置にご尽力いただいた潟上市協賛会と工事関係者の皆さんにこの場をお借りして謝意を表しご挨拶いたします。

熱心に最新の農業機械を見に多くの人が来場する



熱心に最新の農業機械を見に多くの人が来場する